

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	159

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防総務
事業目的	消防活動全般にわたる総務を行なうほか、消防職の人事管理、条例等の整備、文書管理、情報公開等を行なうことで、適正な消防事務を行なう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消防事務等を適切に行なう。 ●主な事務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・消防職員の被服等の管理、整備をする。 ・消防活動等に伴う条例等の整備をする。 ・消防士のスキルアップをさせていくため研修に派遣する。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動で必要となる技術を消防学校や講習会、救助大会等で身に付け災害現場で活用する。 ・愛知県消防学校へ9課程と1コースを入校予定。 ・消防大学校へ1課程を入校予定。 ・講習会として7講習を予定。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防総務事務	14,183	0	0	0	14,183	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	14,183	0	0	0	14,183	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	159

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防施設管理
事業目的	円滑な消防活動を行なうため、日常的な庁舎の管理や、消防自動車の管理を行なう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 ・円滑で迅速かつ確実な消防活動を行なうために、庁舎設備、消防自動車の管理を適切に行なう。 ●主な事業内容 ・一般的な庁舎管理（消防署・北出張所・南出張所）を行なう。 ・消防自動車の維持管理
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎設備の適正な維持管理と光熱費等の削減に努める。 ・平成30年度中に開所予定の北出張所庁舎周辺環境との調和と状況の改善を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防庁舎管理	7,877	0	0	1,016	6,861	87%
消防自動車管理	8,398	0	0	0	8,398	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	16,275	0	0	1,016	15,259	94%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	159

部局名	消防本部
課名	消防総務課・消防署

I：事業概要

施策事業名	消防活動
事業目的	消火、救助、救急活動により、市民の安全・安心を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 ・災害時案に対し迅速、確実に活動する。 ●主な事業内容 ・火災指令を受け現場にいち早く出動し、火災の消火活動及び人命救助活動を行う。 ・消防無線による出動隊間の情報共有を安定確実に行なうため、通信機器及びバッテリーの維持管理を行なう。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指令設備と活動用無線機の計画的な維持管理。 ・さらに充実させるために活動用無線機や指揮隊用資機材を配備し、隊員の安全で迅速な活動を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防活動	3,206	0	0	0	3,206	100%
救急活動	2,714	0	0	0	2,714	100%
通信運用管理	7,363	0	0	0	7,363	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	13,283	0	0	0	13,283	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	159

部局名	消防本部
課名	予防課

I : 事業概要

施策事業名	火災予防啓発
事業目的	事業所における火災予防対策と並んで、住宅防火査察等を実施し、火災予防思想の普及を図り、もって火災発生を防止し、高齢者を始めとする死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 事業所等における火災予防対策と並んで、住宅用火災警報器の設置と維持管理の促進及び火災思想等の普及を継続的に行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者講習の実施 ・事業所等における火災予防対策を図る。 ・住宅用火災警報器設置の普及促進を推進し、設置世帯の増加を図り、すでに設置している警報器の維持管理の促進を図る。 ・住宅防火推進町内会を指定（桃山台）し、火災予防思想の普及を図る。 （平成28年度～平成30年度 継続） ・88歳の高齢者等の死傷防止啓発のため、住宅防火訪問を実施する。 （住宅用火災警報器 PR）
事業の目標・計画	・事業所の立入検査を実施して、消防法等火災予防上の不備等を是正させるとともに、消防訓練指導を行い、事業所における防火体制の強化を図る。また、住宅防火については、高齢者を始めとする死傷事故や財産の損失を防ぐため、住宅防火査察等を実施して、火災予防思想を啓発し、住宅用火災警報器の設置と維持管理について普及啓発を図る。

II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
防火管理	806	0	0	480	326	40%
住宅火災予防対策	488	0	0	10	478	98%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,294	0	0	490	804	62%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	159

部局名	消防本部
課名	消防署

I：事業概要

施策事業名	救急業務高度化推進
事業目的	救急業務の高度化を推進し、救命率の向上を図ります。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <p>①救急救命士を養成し、高度化する救急業務への対応を図ります。</p> <p>②既に活動している救急救命士に対し、高度な救急救命処置を習得させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士を指導する救命士を養成します。 ・処置拡大（血糖値測定、ブドウ糖投与等）、特定行為（気管挿管・薬剤投与）認定救急救命士の養成を行います。 ・救急業務を行う救急救命士の質を維持するため、医療機関で研修を行います。 <p>③市民に対する応急手当の普及啓発を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体験型の応急手当講習会への参加を呼びかけ、救急車が到着するまでの間に心肺蘇生法やAEDの使用等ができるように、応急手当の知識と技術を習得していただきます。 ④公共施設等に設置のAEDを屋外化します。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な救命処置ができる救急救命士を養成するとともに、市民に対する応急手当の普及啓発を推進し救命率の向上を目指します。 ・市民がいつでも使用できるよう公共施設等のAEDを屋外化し、救命率の向上を図ります。（小中学校等17施設）

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
救急救命士養成	5,739	0	0	0	5,739	100%
応急手当普及	2,759	0	0	0	2,759	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	8,498	0	0	0	8,498	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	2	非常備消防費	162

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I : 事業概要

施策事業名	消防団員報酬
事業目的	消防団は、地域における消防防災リーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員に対する報酬を適正に支払っていく。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・条例に基づき消防団員に対し、その労苦に対する報酬を支給。(消防団の活動) ・災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒、巡視、避難誘導、災害防御など。 ・出初式での表彰伝達、火災予防運動や年末特別警戒の市内巡回を通じた広報活動。 ・女性消防団員による救急講習、火災防止啓発活動、防火講話など。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員に適正な報酬を支払う。 ・消防団員定数178名 ・消防団長1名 副団長2名 分団長6名 副分団長6名 部長19名 団員144名

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防団員報酬	10,043	0	0	0	10,043	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	10,043	0	0	0	10,043	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	2	非常備消防費	162

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I : 事業概要

施策事業名	消防団運営
事業目的	市民の安心と安全を提供するため、地域における消防防災リーダーとしての消防団員を支援・育成することを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水火災、警戒及び訓練用の活動に従事するため出場した際の費用弁償を支給。 ・ 消防団活動で必要となる被服や消耗品、備品についての整備をする。 ・ 条例に基づき、消防団員（5年以上所属）が退職した際に退職金を支給。 ・ 6つの消防団がそれぞれ保有する消防団車庫及び消防自動車について維持管理をする。 ・ 婦人消防クラブや各自衛消防隊に対し、補助金を支出することにより育成を図っていく。 ・ 新たに初期消火資機材設置補助を新設し、木造住宅密集地における共助力強化を図っていく。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の安定的な確保をしていくため、市内の事業所、大学及び町内会等に対し消防団活動への理解と協力を求める活動を継続的に実施している。 ・ 女性消防団員を平成27年に新規発足。現在、活動内容としていた救急指導等を消防職員が同席しなくても女性消防団員のみで完結できるように育成をしている。 ・ 防火及び救急救命に関する啓発・広報活動の充実を図る。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防団員公務災害	3,907	0	0	0	3,907	100%
消防団活動	17,048	0	0	0	17,048	100%
消防団施設管理	826	0	0	0	826	100%
消防団車両管理	996	0	0	0	996	100%
自主防災組織活動	373	0	0	0	373	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	23,150	0	0	0	23,150	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	3	消防施設費	164

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I : 事業概要

施策事業名	消防施設整備
事業目的	消防力の充実、強化を図るとともに、適切な消防活動を維持していくため、庁舎や車両、救助資機材について整備を行います。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・整備、更新計画に基づき、消防庁舎等の改修整備、消防水利の設置維持、消防自動車等の適正配置や救助資機材の充実を図ります。 ・北出張所は、平成30年10月の供用開始を目指します。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎等の修繕を行います。 ・円滑な消防活動を行なうため、消防自動車等を計画的に整備します。 ・消防水利不足地域を解消するため、消防水利を設置します。 ・既設の消防水利の維持管理を行います。 ・救助資機材購入 ・町内に設置の消火器を充実させるため、補助金の交付事業を行い、災害に対する自助・共助力を育成します。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎や車両、資機材を適正に維持管理することにより、安全かつ迅速な消防活動が可能となります。 ・未実施となっている第3分団車庫の防水工事を実施します。 ・車両更新計画により南出張所の高規格救急自動車を更新します。 ・老朽化した富岡地区の防火水槽の補強工事を実施します。 ・消防活動に必要な資機材を更新します。 ・平成30年10月に消防署北出張所を供用開始します。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
消防庁舎等営繕	7,429	0	0	0	7,429	100%
消防自動車等購入	33,202	14,550	0	0	18,652	56%
消防水利施設管理	15,076	0	0	1,000	14,076	93%
救助資器材整備	4,427	0	0	0	4,427	100%
北出張所庁舎整備	72,670	0	0	0	72,670	100%
街頭消火器施設設置補助	1,000	0	0	0	1,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
合計	133,804	14,550	0	1,000	118,254	88%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	4	水防費	165

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	水防活動
事業目的	犬山市内の水害を防御することを目的とする。
事業内容	愛知県水防計画の趣旨に基づき、洪水、内水による水災を警戒し、防ぎよし、これによる被害を軽減するため、管内の各河川及び池沼等に対する水防上必要な事項を具体的に定める。
事業の 目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の雨水等による被害の対応を迅速化し、その被害を軽減していく。 ●計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水防計画の作成 ・水防施設や資器材の整備、管理 ・出水時の警戒と水防作業の実施 ・水防意識の昂揚 ・堤防強化に関すること等

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
水防活動	2,767	0	0	0	2,767	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	2,767	0	0	0	2,767	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	5	通信共同運用事業費	166

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	通信共同運用
事業目的	消防事務の一部である通信指令業務とデジタル無線を共同化し、住民サービスの向上及び消防体制の効率化、財政基盤の強化を目的とします。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣6消防本部（犬山・小牧・江南・岩倉・丹羽消防・西春日井消防）の通信指令とデジタル無線について共同運用を継続していきます。 ・119番通報等で外国人に対応するため、多言語通訳を委託します。 ●事業の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・単市で消防通信指令設備とデジタル無線を整備した場合と比較して、費用削減ができました。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・通信指令業務 ・犬山市から4名の職員を派遣しています。 ・消防署北出張所の指令設備を移設します。
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の円滑な運営と通信指令設備の確実な運用により、連携強化と迅速な初動体制を確立します。 ・通信指令設備の保守委託計画に基づき設備の保守を実施します。平成30年10月に消防署北出張所が移設することに伴い北出張所の通信指令設備を移設します。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
通信共同運用	26,321	0	0	0	26,321	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	26,321	0	0	0	26,321	100%